

2026年5月7日

各位

会社名 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
 代表者名 代表取締役 白岩直人
 (東証プライム市場・コード:7172)
 問合せ先 執行役員 経営企画部長 武内健治
 (TEL. 03-6550-9307)

プライベート・エクイティ投資事業における新たな投資について ～株式会社 ANSeeN(アンシーン)～

当社グループは、2015年8月より、プライベート・エクイティ投資事業を開始し、バリューアップ投資を行っております。これまでに10社のIPO、2社のM&Aによるイグジットを実現いたしました。(※)
 今般、当社グループが運営するファンドの新たな投資先として、株式会社 ANSeeN(アンシーン)(以下、ANSeeN)の株式を取得いたしましたのでお知らせいたします。

※ これまでの当社グループ投資実績:<https://www.jia-ltd.com/business/privateequity/>

記

1. 投資の目的

ANSeeNは、2011年に静岡大学の技術である化合物半導体放射線(X線)センサの製造技術をコアとして設立された大学発ベンチャー企業です。ANSeeNは放射線を効率的に検知できる化合物半導体センサであるCdTe(テルル化カドミウム)の性能を最大限に発揮する製造プロセス技術など最先端のセンシング技術を有しており、次世代X線カメラを用いた非破壊検査機器など革新的な放射線センシングデバイスを実現しています。

非破壊検査においてX線画像検査は非接触で対象物の画像を取得できる強力な手法です。食品や工業製品、医療など様々な分野で用いられており、中身を透かして見ることができる特性を活用して異物検査、分析、診断などに活用されています。検査では、より速く、より正確なアウトプットが求められるようになってきており、それを実現できるX線カメラの需要が高まっています。

ANSeeNの化合物半導体放射線センサの製造技術を用いることで、従来の技術では実現できなかったX線検査を可能にする超高感度・高速カメラの開発が可能になり、さまざまな分野での幅広い活用が期待されています。

当社グループは、革新的な放射線センシング技術を活用して、「見えないものをなくし、現場の自動化を実現する」ことを目指すANSeeNのさらなる事業拡大を支援すべく、このたび株式を取得することといたしました。

2. ANSeeNの概要

(1) 名称	株式会社 ANSeeN(アンシーン)
(2) 所在地	静岡県浜松市中央区和地山 3-1-7 浜松イノベーションキューブ 204
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 小池 昭史
(4) 事業内容	X線検出器の設計開発・製造販売 ・ フォトンカウンティング LSI の設計開発

	<ul style="list-style-type: none"> 計測システム・ソフトウェアの開発 放射線計測機器(プリアンプ、MCA、波形分析装置)の試作・販売
(5) 設立	2011年4月
(6) URL	https://anseen.com/

3. 今後の業績に与える影響

現時点において、本件による業績に与える影響は軽微です。

本件に関する問合せ先
 広報・IR室
 TEL:03-6550-9307

以上

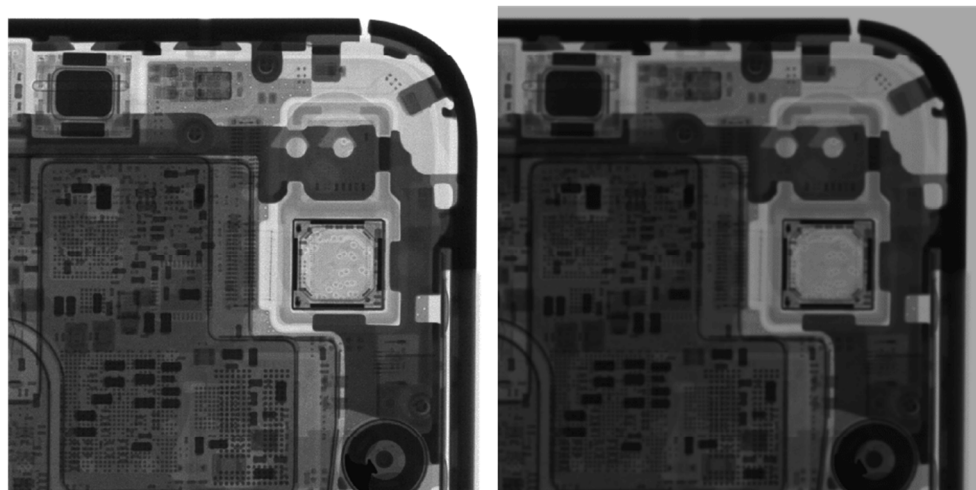
【参考】 ANSeeN 高速・高感度 X 線ラインセンサ(ホームページより引用)



特徴

■高感度

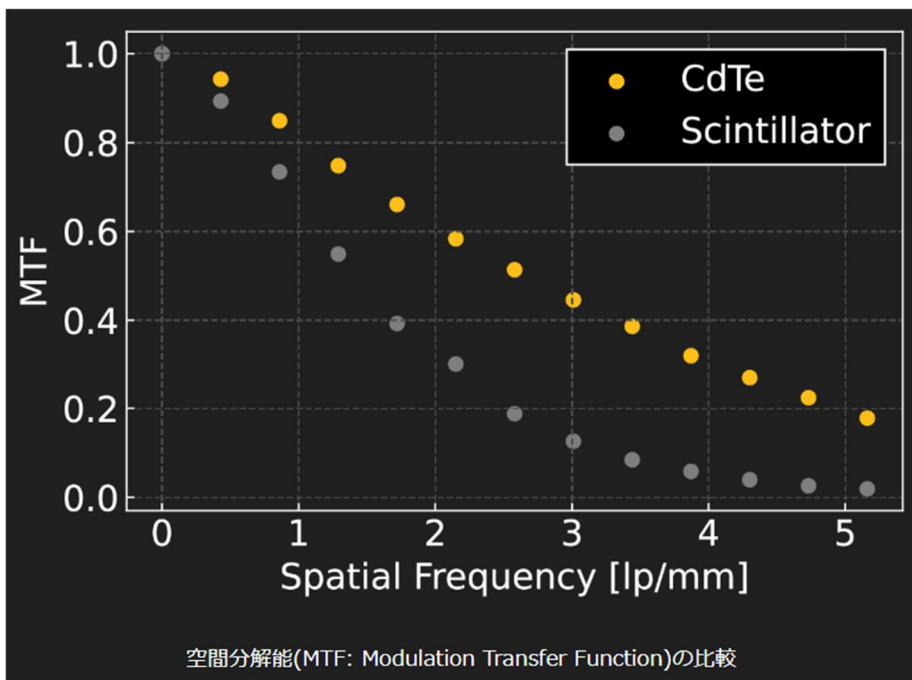
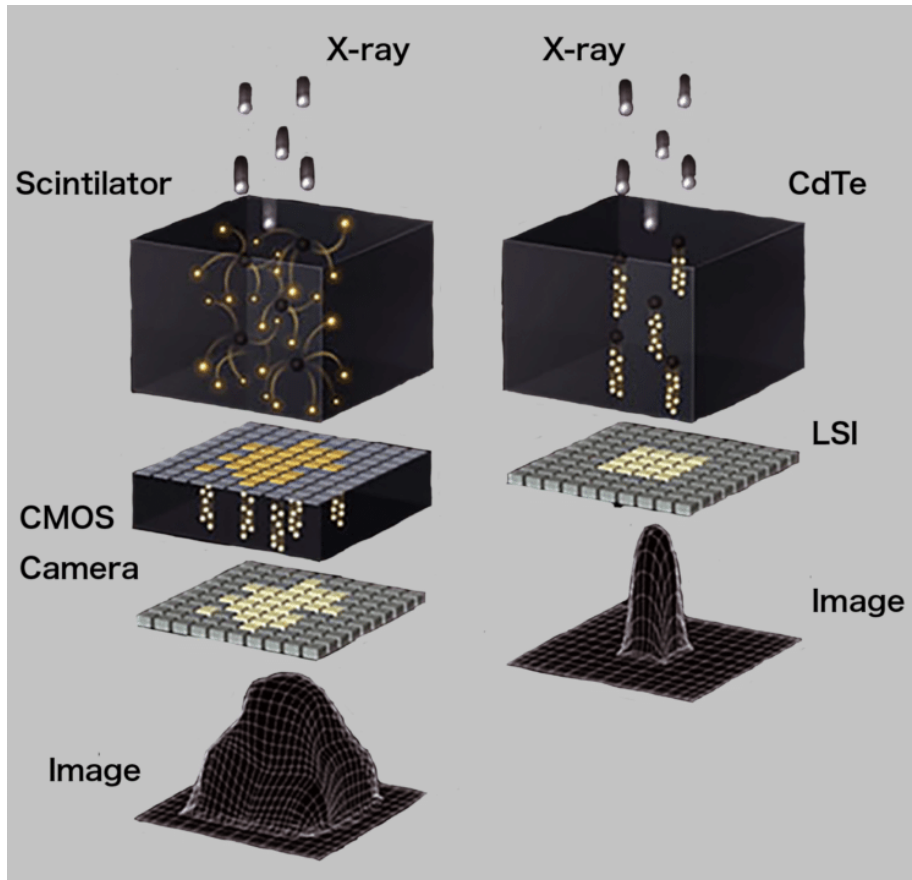
1mm 厚のテルル化カドミウム (CdTe) 半導体検出器により、従来型の X 線センサよりも格段に高効率に X 線を画像化します。100keV を超える X 線光子に対しても十分な吸収効率を持つので、加速電圧の高い X 線源と組み合わせることで、従来の X 線検査では難しかった厚みのある金属製品などの撮像も可能となります。



(左)CdTe 線センサによる X 線画像 / (右)従来型センサによる X 線画像のイメージ

■高精細

従来のシンチレータ型 X 線検出器は、X 線を光に変換してからカメラによる撮像を行うため、変換時に光の拡散により画像にぼけが生じるという課題がありました。これに対し直接変換型 CdTe 検出器は画素中で X 線光子を電荷に直接変換するため、より高精細な X 線画像を撮像することができます。



■動画レートでの撮像が可能

毎秒 500 フレーム以上の速度で撮像が可能であり、出荷検査工程における高速なインライン検査にも対応できます。

■想定ユースケース

- インライン非破壊検査
- インフラ検査
- 産業向けコンピュータ断層撮影(CT)

■システム構成

シリアル通信による制御と、CameraLink による画像出力を介し、お客様の装置や検査システムへ統合することができます。

